

鈴木代表理事 巻頭言



「 エネルギーは道具 」

エネルギーの地産地消を推進するエネ経会議の活動を通じて感じるのですが、いろいろな方々とエネルギーについての話をする時、大手電力会社の電気料金と比べて高いか安いという議論になることが多いです。もちろん、ビジネスにとっても家計にとってもコストは重要です。が、同じように重要なことは、どういうエネルギーを使うのか、そして、そのエネルギーを使ってどういう仕事をしたいのか？ 何を実現したいのか？ どういう暮らしをしたいのか？ どういう社会を作りたいのか？ だと思ふのです。

確かに、そのようなことは今まで考えることもなかったでしょうし、また、考えることもできませんでした。なぜなら、エネルギー、特に電力についての選択肢などなかったから。7年前には自分で電気を作れる、作ろうなどと思った人はほとんどいなかったわけです。が、今はどうでしょうか？ 電力の固定価格買い取り制度の恩恵もあって、全国各地でたくさんの大手電力会社以外の発電所ができています。自分で作ることも含めて、選択肢が出来ました。どういうエネルギーをどう使うのかについての自由度が格段に広がりを見せています。

ですから、そこで大切なことは、エネルギーのことをエネルギーだけで考えるのではなく、どういうエネルギーを使って、どういう世の中を作りたいのかを考えることだと思ふのです。地域経済の循環、まちづくり、農業、防災という視点でエネルギーを考えることです。つまり、エネルギーを道具にして、どう地域経済の循環を促進できるか？ どういうまちをつくるのか？ 耕作放棄地が増大する農業をどう活性化するか？ 安全安心なレジエントな社会をどうつくるか？ などを考え、実践することだと思ふのです。

4月からの新年度に、エネ経会議は、「エネルギーから経済を考える」活動に気持ち新たに取り組んでまいります。エネルギーはエネルギーに留まらない夢のある話なのであります。

追申：わがふるさとの小田原では、エネ経会議と会員さんとのコラボという形で、ソーラーシェアリングが進んでいます。農地を潰すのではなく、農業を続けるための手段として、太陽光発電を道具として使う取り組みです。このメルマガ本号でも紹介しています。



今後の予定(鈴木代表)

3月19日(月) 14時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
3月20日(火) 11時～	日経産業新聞「仕事人秘録」取材②
3月27日(火) 14時～	日経産業新聞「仕事人秘録」取材③
3月29日(木) 10時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
3月30日(金)	気候変動に関する有識者会合 in 小田原
3月31日(土)	
4月3日(火) 9時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
4月17日(火) 9時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
4月20日(金)	小泉元首相視察(恵水工場、ソーラーシェアリング、千世で懇親会)
4月28日(土) 9時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
5月14日(月) 午後～	国谷様視察・会議所会員大会
5月15日(火) 11時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
5月24日(木) 13時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
5月26日(土)	エネ経総会(東京 紙パルプ会館)
5月27日(日) 13時～	エネ経四国勉強会
6月3日(日) 14時～	エネ経氷見勉強会(氷見市漁業文化交流センター)
6月23日(土) 13時～	あさお自然エネルギー学校講演(川崎市麻生区役所会議室)
7月2日(月) 午後～	会計士協会講演

全国ご当地エネルギーレポート

「原発事故から「再エネの里」へ／宮城県「ひっぼ電力」(vol.111)」
 宮城県最南端、福島県との県境に位置する丸森町筆甫(ひっぼ)地区。人口 540 人のこの小さな集落で、2016 年にご当地エネルギー「ひっぼ電力」が誕生しました。きっかけは、2011 年 3 月の福島第一原発事故です。

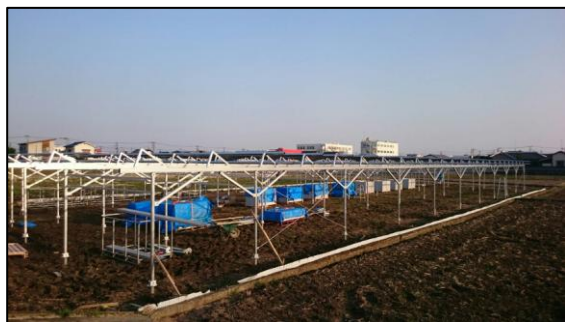


福島県飯舘村に近い筆甫地区は、放射能汚染など事故の影響を大きく受けます。そんな中、住民が主体となって地域の復興をめざす自然エネルギー事業が始まりました。現在も太陽光発電設備を建設中のひっぼ電力が生まれた経緯や、これからのビジョンについてお伝えします。...[詳細は blog から](#)

5月26日(土)は 2018年度会員大会!

年に一度の会員大会は、5月26日(土)銀座紙パルプ会館にて開催いたします。日々お忙しいところ大変恐縮ではございますが、万障お誘いあわせのうえご来場くださいますようお願いいたします。(伴い、会員大会前に同場所にて理事会および社員総会も行います)

会員間コラボ ソーラーシェアリング2号機 間もなく竣工!



58. 24キロワット、神奈川県最大級の県下11例目のソーラーシェアリングが間もなく完成。ソーラーシェアリングとは、農業と自然エネルギーをシェアするという取り組みで、遊休地の有効活用対策として、農家や農地や農業を守る切り札として近年、注目されています。

エネ経会議では、ビジネスマッチングの一環として、会員のパスポート様、和み園、園主川久保様、事務局長小山田で合同会社を設立。友好団体の城南信金から融資を受け、ソーラーシェアリングのビジネスモデルを展開しています。

4/20には小泉純一郎元総理、城南信金吉原毅元理事長の視察が決定。皆さまの視察も随時受け付けています。

お問い合わせはエネ経会議事務局まで



今月の推薦図書

鈴木悌介推薦図書本棚

[田舎の力が 未来をつくる!: ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革](#)

金丸 弘美著 合同出版 2017年11月 1,600円(本体)

わがエネ経会議のアドバイザーの金丸氏の近著。著者が実際に関わってきた具体の事例満載で、地方創生の教科書です。あとがきでエネ経会議のことも紹介してくださっています。

新書「エネルギーから経済を考える」絶賛発売中



合同出版社発行「エネルギーから経済を考える」につきましては、おかげさまで持ちまして発刊 5000部が完売となり、それを機にエネ経会議にて出版部を立ち上げ、新書判を3000部発刊いたしました。

(※新書判は、2013年11月1日発行「エネルギーから経済を考える」を新書判にしたもので、内容は発行当時のものです)

お値段も、旧書 1,620円(税込み) から 新書 960円(税込み) とプライスダウンいたしました。

[ご購入の申込みはこちらから](#)

【会員の皆さまへお知らせ】

◆次回、2018年度の年会費のお支払につきまして、お振込みから**お振替え(銀行引落)**にご変更される会員さまは、事務局石黒までご連絡ください。

お手続きをいたしますので、ご登録の住所へ振替申込書をご郵送いたします。

◆2018年度の年会費のご請求につきましては、振替・振込問わず**2018年4月1日時点**でのすべての会員さまへご連絡いたしますので、お支払い漏れのないようお願いいたします。

なお、銀行引落の会員さまは4月第1週には請求が確定(4月17日(火)引落予定)されますので特にご注意ください。

◆会員情報の変更等(住所や連絡先など)がある場合にはご変更をお願いいたします。会員情報は、<https://secure842.sakura.ne.jp/enekei.jp/login/>よりご変更いただけます。

なお、サポート会員の方は上記システムの利用ができませんので、事務局までお申し出ください。

※本配信のHTML版メルマガとは掲載内容等、一部異なりますのでご了承ください

今号以上